

令和 7 年第 3 回北川村議会定例会 行政報告

令和 7 年 9 月 10 日

おはようございます。令和7年第3回北川村議会定例会を招集しましたところ、議員各位には公私何かとご多用のなか、ご出席をいただき、本議会定例会が開かれますことを厚くお礼申し上げます。

提案に先立ちまして、行政報告をさせていただきます。

＜人口減少対策について＞

村政の最重要かつ喫緊の課題である人口減少対策につきましては、短期間で成果が得られるものではなく、施策を強化しながら着実に継続的に取り組んでいく必要があります。

そのためには、施策に携わる職員の企画立案力と事業遂行能力の向上を図ることが重要であることから、各部署を横断したプロジェクトチームである「むらづくり推進委員会」を通じて「村の永続」と「業務改善」に取り組んでおります。

今年度は、各所属長及び補佐によるシニア部会と若手職員による若手部会の2部会で活動を行っており、シニア部会では、昨年度の職員アンケートをもとに、業務改善について検討を進め、実行できるものから順次、実施してまいります。

若手部会では、8名を2チームに分けて、人口減少対策の新たな施策の検討を進めております。今後は、先進地の視察を実施し、そこで得られた知見なども参考にしながら、新たな施策案の取りまとめを行ってまいります。取りまとめられた施策案については、シニア部会と連携して議論を深め、実現性が高く、効果が期待できる施策については、来年度の事業化を目指してまいります。

このように若手職員が先進的な取組を学んだ上で、政策立案に関与することは、人材育成にもつながるものと期待しております。

また、今年度から開始いたしました事業創出支援業務につきましては、新たな産業や雇用の創出、村外からの移住、関係人口の創出につなげるため、北川村の資源などを活用したローカルビジネスプログラムを実施してまいります。

本プログラムでは、7月から先月18日まで募集を行い、ローカルビジネスを学びたい方や起業に興味がある方など、8名（村外5名、村内3名）の方に参加いただいております。

今月6、7日には、本村の地域資源を把握していただくため、モネの庭やゆず農家、空き家などの視察を行いました。今後も、ビジネス講座や本村でのフィールドワークなどを重ね、北川村で実現可能なビジネスプランを取りまとめ、12月に事業計画を発表する予定です。

計画発表後、村内で事業化に向けて取り組むビジネスプランに対しては、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

＜地域脱炭素先行地域事業について＞

北川村脱炭素事業推進プロジェクトにおける事業者向けZEB化補助事業につきましては、1事業所から申請があり、災害時の電源供給に協力することを条件として、太陽光10kW及び蓄電池15kWhの整備を行った後、NearlyZEBの認証を取得する計画となっており、今年度末の完成予定と伺っております。

また、各ご家庭などの省エネ化に向けた家電購入補助に関する7月末現在の交付決定状況は、電気自動車3件、エアコン19件、給湯器8件、LED27件となっており、全体としては昨年度を上回るペースで順調に申請をいただいております。

民生部門の脱炭素化を推進していくためには、村民の方々の意識の醸成も必要であるため、納涼祭において、家電購入の補助金や小水力発電施設の整備を含め、村の取り組みについて広報を行いました。今後も適切な機会を捉えて周知を行い、再生可能エネルギーの導入や省エネ化の促進を図り、民生部門における脱炭素推進に向けて取り組んでまいります。

＜第 1 次産業の振興について＞

起業家農業者につきましては、10 月より新たに 1 名が研修を開始することとなりました。故に現時点で、本年度の受け入れは 2 名、累計 13 名となります。また、今月 7 日に東京において開催されました「高知県東部移住フェア」に参加し、本村の魅力や充実した移住の受け入れ体制についても積極的に P R を行ってまいりました。その結果、本村での就農に関心を示された方がおられましたので、補正予算において 1 名分の受け入れに係る経費を計上させていただいております。

こうした移住による就農も含めた新規就農者につきましては、本村の農業を支える重要な担い手であり、将来的な産業構築モデルとしての役割も期待しております。今後も、こうした方々が高い意識と明確な目標を持って取り組めるよう、県農業振興センター及び農協と連携した巡回活動や経営状況の確認など、継続した支援を行ってまいります。

優良園地の確保につきましては、これまで第 2 期北川モデル圃場整備において課題となっていました基盤土の固め過ぎと表土層の不足について、農林水産省中国四国農政局及び県に対して議長とともに要望活動を行い、現在、工事中の島地区から設計の見直しが行われるなど、速やかに必要な個所への対応が図られております。優良園地の確保は、農業者の所得向上に向けた取組の一丁目一番地となりますので、国への予算確保などの要望とともに、今後も良好な園地の整備が着実に進むよう、事業主体となります県への働きかけを継続してまいります。

＜生活基盤の整備等について＞

野友地区の奈半利川堤防整備につきましては、整備の実施主体である県が、令和 3 年に開催した住民説明会から一定の期間が経過していることを踏まえ、これまでの進捗状況や今後の進め方について、

先月 26 日に地元説明会を開催いたしました。今後、県は工事計画の策定を進め、当該工事計画に関する説明会を、本年度内に改めて開催する見込みであると同っております。

また、人口減少対策の一環として野友角木地区に整備する宅地造成につきましては、7 月に造成工事の契約を締結し、先月に表土の剥ぎ取りが完了、今月 1 日から造成に必要な土砂の搬入を開始しております。今後は、造成地内の道路整備や用水路の付け替えなどを進め、令和 8 年度中の分譲開始を目指して取り組んでまいります。

先月 3 日に発生しました簡易水道の断水につきましては、復旧に時間を要したため、給水区域の皆さまに大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

今回の断水は、複数の要因が重なって発生したものでございます。具体的には、まず、主電源の漏電ブレーカーが経年劣化により電源を遮断したことで、取水ポンプが停止いたしました。さらに、エンジンに不調が生じ、作動しておりました予備電源である自家発電機も停止いたしました。これらの要因が重なった結果、断水が生じたものでございます。

村としましては、今回の事案や村全体の水道施設における老朽化が進んでいることを踏まえ、デジタル技術を活用した監視装置の整備や、定期的な施設点検に基づく予防保全の計画修繕を確実に実施し、安全で安定した飲料水の供給体制の確保に努めてまいります。

<防災・地震対策について>

耐震強化期間 2 年目となりました個人住宅の耐震化につきましては、7 月末現在、診断 6 件、設計 4 件、改修工事 2 件が完了しております。補助額の引き上げによる自己負担の軽減を図っていることから、順調に申請をいただいておりますので、引き続き、地域の住環境の改善・防災対策の向上に取り組んでまいります。

<日本一元気な長寿村づくりについて>

特定健診の受診率につきましては、令和7年6月受診分までの速報値で44.3%、前年度比4.1ポイントの増となっております。

集団健診につきましては、南部、北部合わせて218名の方に受診いただきました。前年度と比較しまして、後期健診6名、特定健診1名、若年者健診5名、全体では12名の増加となりました。

受診率が向上したことにより、生活習慣病の早期発見や重症化リスクの高い方への早期介入が可能となり、適切な保健指導の実施につなげることができております。また、村民の健康に対する意識の高まりを感じられますことから、今後も受診率のさらなる向上に努めてまいります。

あったかふれあいセンター事業と連携した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施につきましては、地域住民の皆さまの健康維持・増進、そして介護予防の推進を目指し、積極的に取り組んでおります。今年度は認知症をテーマに、健康運動指導士や北川村食生活改善推進協議会、中芸広域連合地域包括支援センターなどを講師に迎え、運動習慣の定着、食生活の改善、認知症になっても地域で暮らせる取り組みの紹介等を行っております。

これらの一体的な取り組みは、先月末現在9会場で20回実施し、初めて参加されました9名を含む延べ130名の方にご参加いただきました。初めての参加者からは「脚や腰などの不調について聞くことができた。次も参加したい。」といった前向きなご意見などが寄せられ、全般では「家にあるもので簡単に作れるレシピなので助かる。」「先生の話聞いて姿勢を意識したら歩くのが楽になった。」といった好評価を多数いただいております。

今年度は、年間で51回の実施を予定しており、残る31回につきましても、より多くの住民の皆さまに参加いただけるよう、広報活動を積極的に展開してまいります。

今後も、生活習慣病の予防と早期発見に向け、村民全体への情報発信や啓発を継続するとともに、リスクの高い方には個別の健康相談を実施し、村民の皆さまが健やかに暮らせる村づくりを目指してまいります。

＜観光の振興について＞

先月 29 日に北川村納涼祭が 2 年ぶりに開催され、村内外から約 500 人の方にご来場いただきました。村のイベントには欠かせないやまなみ太鼓がオープニングを飾り、保育園児や村のダンスグループをはじめとした催しや、猛暑の中、各種団体の皆さまに出店いただき、会場は大いに賑わいました。実行委員会をはじめ、ご協力、ご協賛いただきました関係者の皆さまに深く感謝を申し上げます。

北川村モネの庭マルモッタンにつきましては、文化観光推進法に基づく拠点計画が、先月、文化庁から認定されました。今後は、2030 年の開園 30 周年という大きな節目を見据え、計画に基づき当園のさらなる魅力向上と来園者の増加に向けた整備を実施してまいります。

モネの庭の入園者数は、8 月末現在 57,730 人（対前年同期比 103.2%）となっております。指定管理者からは、台湾からの定期チャーター便やクルーズ客船によるインバウンドの受け入れを強化し、来園者数の増加を図っていく方針であると伺っております。

北川村温泉の宿泊と日帰り入浴を合わせた利用者数は、8 月末現在で 6,097 人（対前年同期比 103.6%）となっております。これは、食事が高く評価されていることに加え、スタッフのサービス向上への継続的な取組により、リピーター客の増加につながっていることが要因だと伺っております。

課題となっております人員確保につきましては、5 月に退職された方の補充として 1 名を新たに採用しましたが、依然として十分な人員を確保できておらず、人員不足の状態が続いております。村では、ワーキングホリデーを募集し、これまで 2 名の応募がありまし

たが、いずれも個人の事情により直前に辞退されたため、現時点では採用には至っておりません。しかしながら、制度に関する問い合わせは継続して寄せられていますので、引き続き、募集を続けてまいります。

＜教育関係について＞

中学校での英語学習につきましては、先月 27 日から、福島県にある「パスポートのいない英国」として知られるブリティッシュヒルズにおいて、中学生 7 名が合宿形式の外国語研修に参加いたしました。研修当初は、施設内の全ての会話が英語で行われる環境に戸惑う様子も見受けられましたが、徐々に環境にも慣れ、積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする姿が見られました。

本研修を通じて、生徒たちは語学力の向上だけでなく、異文化に対する理解や主体的に学ぼうとする姿勢を養うなど、学習への意欲向上にもつながる、大変有意義な体験となりました。今後は、この経験を生かし、英語検定の取得を目指すほか、将来的には海外での研修の実施など、一層外国語への関心を高める活動を展開し、よりグローバル化される社会を生き抜くことができるよう、子ども達を育ててまいりたいと考えております。

15 年間の一貫した子育て・教育環境の実現につきましては、令和 2 年度に策定いたしました「子育て・教育ビジョン」に基づき、昨年度末には、ビジョンの実現に向けたソフト面での実施計画であるマスタープランを作成いたしました。現在、このマスタープランに掲げる 7 つの柱を中心に、取組を進めているところです。

一方で、ビジョンの実現に向けたハード面においては、校舎や小中共同調理場などの主要な教育施設が築 50 年を経過するなど、魅力かつ特色ある教育活動を実施するためには十分とは言えない箇所や、より快適な教育環境の実現に向けて改善が求められる箇所がございます。

そのため、7月1日付けで新たに文部科学省より派遣いただいた職員を「子どもの学び魅力化プロジェクトチーム」のリーダーとして任命しましたので、今後は、ビジョンを実現するための施設整備を含めた基本計画策定に取り組んでまいります。

基本計画の策定にあたりましては、まずは耐力度調査の結果を十分に踏まえ、教職員や村民の皆さまのご意見もしっかりとお伺いし、認定されている脱炭素促進事業による施設のZEB化を視野に入れ、新たに設置する検討委員会において議論を重ねてまいります。

中岡慎太郎館の入館者数につきましては、8月末現在で2,589人（前年比△3%減）となっております。10月には、中岡慎太郎の伝記を日本で初めて執筆した北川村出身の尾崎卓爾にスポットをあてた企画展を計画すると伺っており、更なる中岡慎太郎の顕彰と広報の充実に期待しております。

<中芸広域連合関係について>

各業務の7月末の状況につきまして、消防業務は、管内における火災3件（うち北川村0件）。救急業務は、出場件数218件（うち北川村12件）、搬送人員202人（うち北川村11人）となっております。

介護保険業務につきまして、本年度の介護保険料は、7月に本賦課を行い、当初調定額は266,347千円（対前年比+4,459千円、+1.7%）となっております。

火葬場業務は、管内67件（うち北川12件）、管外7件、合計件74となっております。

＜工事発注等の状況＞

本年度の工事関係（工事・委託業務）発注状況につきましては、
9月1日時点で、

区 分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
繰越明許費	11 件	11 件	5 件	100%	45.5%
現年予算	22 件	15 件	1 件	68.2%	4.6%

今後も引き続き早期完成に向けて事業の進捗を図ってまいります。

＜終わりに＞

本定例会には、令和7年度北川村一般会計補正予算など議案10件、
報告2件を提出させていただいております。

議員の皆様方には、何卒、ご審議のうえ、適切な議決を賜ります
ようお願い申し上げます。